

第36回旭川市民劇場賞は、
青年劇場
『きみはいくさに征ったけれど』
に決定、総会で発表されました。

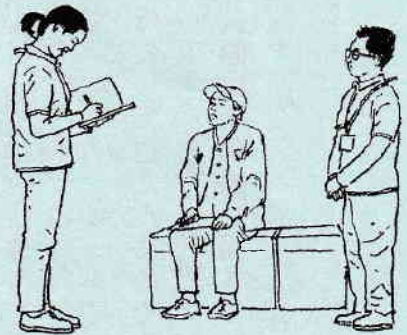
会員証の投票用紙でお寄せいただいた、
旭川市民劇場賞推薦作品の感想や1年間の
例会の感想をご紹介します。

2022 私の 市民劇場賞

2月例会 プリエール

「銀色のライセンス」

●毎回、楽しく視聴させていただきました。ユーモアたっぷりの内容をこれからもお願ひしたいです。



4月例会 加藤健一事務所

「サンシャイン・ポイズ」

●役の上で高齢となった二人の役者の掛け合いが何とも良い。間の取り方も絶妙！B作こんなに演技、うまい人だったのか。見直しました。
●楽しい内容でした。

●ユーモアのある深刻でないのが好き



6月例会 文学座

「一銭陶貨」

「七徳分の一の奇跡」

●今年は古典的な劇が多いように感じました。色々な幅の劇が観れたらなと思います。
●初めて、舞台装置の搬入の手伝いをした。俳優さんを近くで見れて興奮。お芝居もす

ばらしいものでした。
●コロナ禍の中、昨年より多く参加できました、ホッとします。運営の方、担当の方ありがとうございました。
●生身から歴史上の事実を知る楽しさ、面白さ、感動の場。
●古典的な佇まいながら、令和作品であると言う点に注目！舞台装置、演出、役者の演技などしっかり作られた名作になりうる作品だと思った。



9月例会 茂山千五郎家

「狂言『舟船・猫と月・鎌腹』」

●狂言を生まれて初めて観ました。又、是非上演していただきたいと思えます

●初めて、狂言に触れることができました。

●古典芸能における演劇性に今後も注目してもらいたいです。



10月例会 青年劇場

「きみはいくさに征ったけれど」

●すごく感動しました

●戦争とイジメを組み合わせた青年劇場の姿勢に敬意。今の社会が戦争への道を進んでいるように思えてならない。主権者として声をあげよう、今!!

●定期的に良質な演劇が観られる環境がまずありがたいなと感じます。これからもよろしくお願い致します。

●コロナがあり、全ての例会に出席できなかったことが残念です。狂言は楽しみにしていたが、キリスト教社会(?)への理解が足りないためか意味がわからないままだった。

10月例会は役者の一所懸命さも伝わり「生きる」を考えさせられた。

●10月例会、演者としては、弱い感じがあったが、じわじわ心に響いた作品。今期はとびぬけた印象はないが、笑い泣き散りばめられていて、楽しかった一年でした。

●生き方を問われた作品だった。主人公の青年に自分を重ね竹内浩三の言葉を受け止めていた。また、団員の表現力が良く、真剣に見入ってしまった。

●本当に、やさしい芝居。若い人はたくさん、したいことや希望があるものだ、浩三があんな世から帰ってきてまで、宮斗に寄り添って伝えてくれた。

●それぞれの劇団出演者の皆様の一生懸命さが伝わり良かったと思います。生まれる時代は選べないので、平和な時を生きる事に感謝です。



12月例会 前進座

松本清張朗読劇『青春の彷徨』

『或る「小倉日記」伝』

●いい時間でした。ありがとうございます。

●思った以上に三人の素晴らしい演技に感動しました。生のフルート演奏良かったです。

●入会して間もないので選択肢が少ないが各例会とも楽しめた。

●幸せとは何か？

●朗読劇、とても惹き込まれました。

●毎回楽しませていただいています。コロナ禍の中、本当に大変なのに感謝しております。内容も毎回新鮮でワクワクしています。

●情景がうつり出されます。

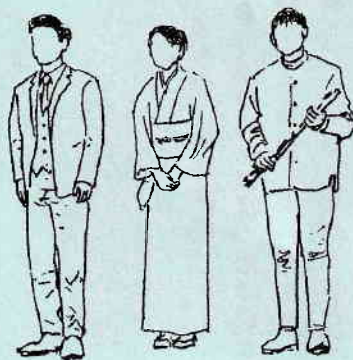
●「朗読劇」って面白いものですね

●小さいけれど、とても大きな舞台もあるんですね。

●想像力を刺激されるとも



該当なし
 ●見て良かったわね、でカン
 ゲキし、心に残るのはない、
 年を取ったせいかしら。



に、俳優さんの演技に感動し
 ました。

第36回 旭川市民劇場賞 投票結果

例会月	例会名	会員数	参加率	観劇会員数	得票数	得票率	感想記入数
2月	銀色の	991名	56%	554名	21票	3.7%	1
4月	サンシャイン	990名	76%	752名	70票	9.3%	3
6月	一銭陶貨	990名	74%	732名	43票	5.8%	5
9月	狂言	989名	71%	702名	25票	3.5%	3
10月	きみはいくば	996名	72%	712名	113票	15.7%	8
12月	清張 朗読劇	987名	66%	651名	88票	13.5%	10

選考は三本に絞った。4月
 例会『サンシャイン・ボーイズ』
 は、加藤健一さんと佐藤B作
 さんのぶつかり合いながらお
 互いを尊重し合っていること
 が表現されていた。その絶妙

投票総数 367票 投票率 37.2% 該当なし・白票 5票、判別不能 2票。

(例会)参加率=(例会)もぎり数÷(例会)会員数

観劇会員数=会員数×参加率 得票率=得票数÷(例会)観劇会員数

【出所】旭川市民劇場第52回総会討議資料■2022年の組織動態表及び
 第36回旭川市民劇場賞選考結果より抜粋・加筆。

水沢秋代を演じた平体まひろ
 さんの演技が良か
 ったという感想が
 多く寄せられた。
 10月例会『きみは
 いくさに征ったけ
 れど』は、竹内浩
 三の圧倒的な存在
 感、前向きで強烈
 な個性に出会うこ
 とで、いじめを受
 けている宮斗が少
 しずつ前向きに変
 わっていく様子が
 よく描かれていた。
 一方戦争の理不尽

さは別格。6月例会『一銭陶
 貨』七億分の一の奇跡』は、
 会場が文化会館大ホールだっ
 たということもあり、セリフ
 が聞き取りにくく集中できな
 かったという声も。しかし、

白票多く、企画の議論深めたい

さや、浩三の詩を読めばわか
 るように、素朴な言葉で、し
 なやかに抗い、権力に対して
 の向き合い方を示してくれた
 のでは。この芝居こそ今見る
 必要があるとの声も出された。
 旭川市民劇場賞は、劇団の
 創造活動の励ましになること
 を願って贈られます。

受賞作品は、会員投票を踏
 まえ、選考委員会(幹事会)
 で話し合い決定しています。
 作品を振り返り、話し合い
 を重ね深めることで、私たち
 のお芝居を観る目と心を豊か
 にし、より良い作品を選択で
 きるのではないかと考えます。

